



あったかす

〒071-1211 鷹栖町北1条1丁目4番1号 TEL: 0166-87-2219 FAX: 0166-87-2170

鷹栖町立鷹栖小学校 令和5(2023)年4月28日 第①号

欲しいものが手に入ったとき、なんとも言えない[いい気分]に浸れるものです。頬も緩みます。

新しいスニーカー、新しい白Tシャツ、新しい帽子、…。そうそう、新しい靴下も。

春です。おしゃれして、出かけましょうか。

◆春は、おしゃれの季節。

半世紀近く前、私だって中学生。

あの頃のあの町(当麻町)の、おしゃれ中学生の必須アイテムは、白いソックス(=靴下)。

なぜ、白なのか?清潔感あふれる白靴下で、**【異性にモテモテ】**をねらっていたのだと思う。

中学の卒業アルバムに写る女子は全員、カラフルなラインが何本か入る白いハイソックス。

男子は学生ズボン。靴下は見えないが、間違いなく全員が白靴下。それも単に白ではなく、くるぶしの上あたりにワンポイントロゴが入っているもの。当時の流行りのロゴマークは、**[クマ]**、**[うさぎ]**、**[ペンギン]**、**[傘]**、**[向かい合う2匹のドラゴン]**、**[パイプ]**…。

これらを**[ブランド品]**ではなく、**[メーカー品]**と呼んでいた。友だちの白靴下を指さして、「それ、メーカー品でしょ。いいなあ。」という具合に言う。振り返ると、恥ずかしい。

北山は現在、**[3足500円]**ぐらいの**[超]**がつくほどのお買得黒靴下をはく。しかし、あこがれの**[メーカー品白靴下]**は、確か1足800円ほど。

決して安くはない。

ちょっぴり色気づいた中学生北山が、母に頼んで頼んで、初めて買ってもらったメーカー品靴下は**B.V.D.**。白地に青の刺繍で**B.V.D.**だ。

まぶしい。実にまぶしい。

(お母さん、ありがとう。大事にはくよ。)

中学生北山の心は躍っていた。

ピュアホワイトの**B.V.D.**靴下に、これまた買ってもらったばかりの、ベロアもどきの青い運動靴をはいたら、いつの間にかスキップしていた。

白い雲(=白靴下)と、青い海(=運動靴)を思い起こさせる、完璧なカラーコーディネートだ。

(そりゃあ、スキップもしたくなるわ。)

そんな春(初夏?)。

オープンしたての、当麻アスレチックフィールドに遊びに行った。仲よしの男子3人と一緒に。

もちろん目的は、自慢の**B.V.D.**靴下と青い運動靴を見せびらかすこと。

本当は、カラーコーディネートに合わせて、海に行けたらよいのだが、中学生の乗るチャリンコでは、到底ムリ。海はないけれど、池はあるさ(青ではない。茶色の池。)。空には、白い雲。

[べこ餅]みたいなカラーコーディネートか…。(誤解しないでほしい。私は**[べこ餅]**が好きだ。)

池の水面上に**[いかだ]**が並ぶ。ぴよんぴよん跳んで渡るのだそうだ、**[因幡の白兔]**みたいに。

ウサギになった気分で挑戦したら、跳躍力が足りず池に落ちた。幸いにも対岸近くで水は浅く、足首ぐらいまで水につかっただけ。

靴の中がグニュグニュ、グニュグニュ…。

新しい運動靴が濡れたのは不愉快だったが、外靴だからいつかは汚れるもの。仕方ない。気持ちを切り替え、そのあとも遊び続けた。

楽しい。実に楽しい。

満足して家に帰り、玄関で靴を脱いだ。

「ええっ!」思わず声が出る。

中学生北山の、自慢の**B.V.D.**靴下(ピュアなホワイト。まぶしく輝くメーカー品。)は、見事に青く染まっていたのだ。

(えっ?なぜ?どうして?)

もしかして…。そう。犯人は、青の運動靴。ベロアな青色のせいだった。

洗っても、洗っても、何回洗っても、**B.V.D.**靴下は、純白には戻らなかった。

(お母さん、ごめん。<やしい。)

◆3年も我慢したのですから…。

鷹栖は、北海道は、春、続いて初夏を迎えます。

いちばんいい季節かもしれないね。

セーターはタンスの奥にしまって、お気に入りのシャツを着て、新しいスニーカーをはいたら、久しぶりに、お日さまとたわむれませんか。

(校長 北山 雅章)